

調達管理番号・案件名
25a00541_ウズベキスタン国国際連結性強化事業準備調査におけるプルーフエンジニアリング業務(一般競争入札(総合評価落札方式-ランプサム型))

質問と回答は以下のとおりです。

2025年10月17日

質問番号	ページ	項目	質問内容	回答
1	12	第2章第2条(3) ④ イ)対象資料	「全体で60人日を想定しており」について、表の合計業務量は66人日となっておりますが、66人日を想定すればよいでしょうか。	66人日を正とします。
2	12	第2章 特記仕様書 第2条業務の内容(3)業務内容詳細	文中では60人日と記載がありますが、表中では66人日と記載があります。表中の66人日が正と考えてよろしいでしょうか。	66人日を正とします。
3	22	第3章 1.技術提案書作成に係る要件 (2)業務量の目途	(2)業務量の目途について、「道路・橋梁」「道路・トンネル建設」「道路・斜面防災」分野に関する…(中途略)最低1名ずつ配置すること。」とは、3分野それぞれ最低一名配置し、業務従事者の兼務は認めないという理解で問題ないでしょうか。	各分野の要件を満たしていれば兼務も可能です。
4	23	第3章 1.技術提案書作成に係る要件 (2)業務量の目途	「発注者側の視点から、調査設計業務の監理を行った実績を有していること」の要件は、上記の各分野の業務従事者すべてに適用されるという理解で問題ないでしょうか？	ご理解の通りです。
5	24	2. 技術提案書作成上の留意点 (1)コンサルタント等の法人としての経験、能力	類似業務経験(様式4-1 その1)に関してですが、基本的には①『入札説明書中の「評価対象とする類似業務」を記載すること』が重要(評価される)であることは理解しております。一方、類似業務の内容と一致しない或いは類似性がそれほど高くなくても②対象国における経験』については、プロジェクトを円滑に実施するうえでは重要であると認識しております。類似業務10件の選定にあたり、上記①をメインとする中、②のウエイトは評価にどの程度考慮されるものでしょうか。1－2件でも②の案件を記載したほうが良いのでしょうか。	類似業務の経験に関する評価については、「コンサルタント等契約におけるプロポーザル作成ガイドライン(2025年8月)」の別添資料2「I.業務実施契約におけるプロポーザル評価の視点」に記載がございます。そちらをご確認ください。
6	26	第3章 技術提案書作成要領 (4)旅費(航空賃)について	航空費は日本とタシケント空港までの往復航空運賃のみ、ウズベキスタン国内は車両移動と考えてよろしいでしょうか。その他、日当、宿泊費及び、同国内での車両や通訳等の直接経費は本契約内で計上するものと考えてよろしいでしょうか。	2点ともご理解の通りです。

以上